

資 料 編 目 次

1	高齢者の地区別状況	115
2	地域ケア個別会議と地域課題	116
3	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（概要）	119
4	成年後見制度の現状	125
5	出雲市在宅医療・介護連携推進基本計画（概要）	126
6	在宅介護実態調査結果（概要）	129
7	介護サービスの過不足状況調査結果（概要）	134
8	介護人材の確保・定着に係る施策に関するアンケート調査結果（概要）	139
9	介護保険運営協議会、各部会開催状況	144
10	出雲市介護保険運営協議会委員名簿	146
11	出雲市介護保険条例等（抜粋）	148

1 高齢者の地区別状況(令和2年3月31日現在)

地区名	人口	世帯数	高齢者数	高齢者世帯数	高齢化率	高齢者のみの世帯数					
						独居高齢者数			高齢者夫婦世帯数	その他	計
						男	女	計			
今市	6,576	2,886	2,000	1,418	30.41%	141	373	514	314	41	869
大津	9,799	4,083	2,758	1,916	28.15%	181	488	669	398	51	1,118
塩冶	15,703	7,059	3,506	2,450	22.33%	256	564	820	515	55	1,390
古志	2,002	777	718	477	35.86%	38	88	126	111	11	248
高松	10,580	4,062	2,695	1,769	25.47%	141	267	408	371	46	825
四絡	12,256	5,301	2,525	1,771	20.60%	164	465	629	344	35	1,008
高浜	3,715	1,276	1,131	701	30.44%	31	77	108	163	29	300
川跡	10,135	3,961	2,211	1,457	21.82%	111	242	353	334	33	720
鳶巣	1,595	522	492	312	30.85%	14	42	56	49	14	119
上津	1,172	399	483	309	41.21%	20	41	61	53	14	128
稗原	1,685	549	708	441	42.02%	28	48	76	76	24	176
朝山	1,725	586	687	439	39.83%	34	54	88	82	18	188
乙立	580	203	269	169	46.38%	13	26	39	37	6	82
神門	8,026	2,896	2,048	1,353	25.52%	93	227	320	290	34	644
神西	3,670	1,435	1,104	738	30.08%	70	139	209	116	21	346
長浜	5,129	1,865	1,658	1,098	32.33%	100	191	291	199	39	529
出雲地域計	94,348	37,860	24,993	16,818	26.49%	1,435	3,332	4,767	3,452	471	8,690
平田	6,728	2,381	2,226	1,432	33.09%	104	213	317	273	57	647
灘分	3,358	1,105	1,094	703	32.58%	42	83	125	119	21	265
国富	2,886	934	884	578	30.63%	30	65	95	83	17	195
西田	1,595	578	610	427	38.24%	36	108	144	43	13	200
鰐淵	616	230	288	190	46.75%	21	32	53	32	6	91
久多美	2,130	756	755	479	35.45%	28	64	92	87	18	197
桧山	1,335	438	462	301	34.61%	16	35	51	50	12	113
東	2,434	837	888	592	36.48%	58	101	159	85	19	263
北浜	1,051	405	493	326	46.91%	29	56	85	58	14	157
佐香	1,296	509	589	400	45.45%	36	68	104	78	21	203
伊野	1,259	416	447	307	35.50%	29	38	67	36	5	108
平田地域計	24,688	8,589	8,736	5,735	35.39%	429	863	1,292	944	203	2,439
反辺	552	203	232	156	42.03%	18	28	46	28	3	77
西須佐	517	184	236	149	45.65%	7	23	30	31	6	67
東須佐	741	260	339	208	45.75%	14	31	45	53	5	103
窪田	1,182	448	549	376	46.45%	47	85	132	58	11	201
橋波	189	70	95	56	50.26%	4	6	10	15	3	28
佐田地区計	3,181	1,165	1,451	945	45.61%	90	173	263	185	28	476
久村	746	275	304	194	40.75%	14	36	50	40	10	100
小田	1,637	660	652	445	39.83%	60	93	153	99	8	260
口田儀	786	303	353	228	44.91%	17	43	60	54	11	125
奥田儀	170	71	86	56	50.59%	2	11	13	14	4	31
多伎地区計	3,339	1,309	1,395	923	41.78%	93	183	276	207	33	516
江南	2,319	859	849	569	36.61%	44	102	146	130	19	295
西浜	2,883	1,218	1,040	757	36.07%	98	224	322	129	20	471
湖陵地区計	5,202	2,077	1,889	1,326	36.31%	142	326	468	259	39	766
荒木	6,085	2,164	1,913	1,226	31.44%	85	187	272	291	32	595
大社	5,304	2,145	2,232	1,537	42.08%	168	348	516	290	49	855
日御碕	631	252	322	207	51.03%	22	40	62	38	3	103
鵜鷺	194	103	125	85	64.43%	15	23	38	21	6	65
遙堪	2,281	777	815	541	35.73%	34	105	139	80	20	239
大社地区計	14,495	5,441	5,407	3,596	37.30%	324	703	1,027	720	110	1,857
出西	4,930	1,633	1,302	826	26.41%	26	85	111	156	14	281
阿宮	390	128	174	109	44.62%	10	9	19	22	3	44
伊波野	6,478	2,597	1,368	937	21.12%	87	179	266	151	17	434
直江	3,888	1,528	954	615	24.54%	35	87	122	130	12	264
久木	2,494	801	803	510	32.20%	40	61	101	73	15	189
莊原	7,339	2,543	2,207	1,437	30.07%	93	190	283	260	32	575
出東	4,018	1,226	1,352	826	33.65%	37	70	107	116	35	258
斐川地区計	29,537	10,456	8,160	5,260	27.63%	328	681	1,009	908	128	2,045
合計	174,790	66,897	52,031	34,603	29.77%	2,841	6,261	9,102	6,675	1,012	16,789

※数値は全て外国人を含む

高齢者 昭和30年4月1日以前に生まれた者
 独居高齢者数 昭和30年4月1日以前に生まれた一人暮らし高齢者数
 高齢者夫婦世帯数 昭和30年4月1日以前に生まれた者で構成する夫婦二人暮らし世帯数

2 地域ケア個別会議と地域課題

1 目的

介護保険の理念に基づき、高齢者の自立支援及び生活の質（ＱＯＬ）の向上に資するケアマネジメントと、それに基づく介護サービスの提供をするため、多職種協働による地域ケア個別会議を開催する。

2 実施状況

毎月第３火曜日 14:00～16:30 ※9月、3月は、事例の６か月後の状況の評価を実施

3 対象ケース

軽度要介護者、要支援者、事業対象者で主に生活不活発病の事例

4 構成メンバー

【事例提供】 高齢者あんしん支援センター、居宅介護支援事業所（介護保険サービス事業所も同席）

【助言者】 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、主任介護支援専門員

【オブザーバー】 出雲保健所

【司会進行等】 高齢者あんしん支援センター、出雲市高齢者福祉課、医療介護連携課

5 開催状況

開催年度	平成 29 年度(2017)	平成 30 年度(2018)	令和元年度(2019)
開催回数	6 回	12 回	12 回
検討事例数	10 件	25 件	30 件

6 高齢者あんしん支援センターが主催する地域ケア個別会議

市が主催する上記の地域ケア個別会議とは別に、解決困難な個別事例等について関係者で検討を行う地域ケア個別会議を、高齢者あんしん支援センターが主催して以下のとおり開催しています。

開催年度	平成 29 年度(2017)	平成 30 年度(2018)	令和元年度(2019)
開催回数	36 回	68 回	52 回

7 地域ケア個別会議等から抽出された主な地域課題

(1) 地域性にかかわらない高齢者に共通する課題

項 目	内 容
介護予防	○介護予防の必要性の啓発（壮年期含む） ・介護予防の必要性や効果を伝え、早期からの取組を促すこと。 ・口腔ケアや栄養への関心が低いこと。
生活支援	○ごみ出しが困難な高齢者への対応 ・集積所までごみを運べないこと。（集積場までの距離、ごみの重量等） ○自炊できない高齢者の食事確保（配食サービス） ・価格が高いこと。（特に治療食） ・孤食で楽しみがなく続かないこと。
社会参加 外出機会	○男性が参加しやすい通いの場等の充実 ・女性中心のお茶飲み、会話による通いの場は男性が好まないこと。 ・男性の参加への動機づけが少ないこと。 ○高齢者が、得意分野を生かせる場所や団体の充実 ○病気等により閉じこもりがちな高齢者の外出機会の充実
認知症	○認知症の早期診断・早期治療の必要性の啓発 ・早期診断、早期治療の必要性が本人や家族に理解されにくいこと。 ・認知症の人の見守りや、話し相手が不足していること。
サービス利用 の考え方	○自立支援・重度化防止のためのサービス利用の考え方の普及 ・本人や家族が自立支援・重度化防止の考え方を理解していないために、支援につながらないこと。 ・家族の支援が本人の自立を阻害しているケースがあること。
地域の見守り	○地域とのつながりがない高齢者への支援（アパート・サ高住居住者含む） ・支援を要する者の把握が難しいこと。（アウトリーチによる支援）
身よりがない 高齢者	○身よりがない高齢者の支援方法 ・支援者の主な役割は、①経済的支援、②身の回りの世話、③代理意思決定であるが、関係機関でそれら役割を担う実行役がないこと。 ・特に生活保護、老人福祉措置入所等に至らない人が課題。

(2) 地域特有の課題（山間部や沿岸部等地理的条件によって生じる課題）

項 目	内 容
介護予防 (通いの場)	○身近な地域（徒歩圏）に通いの場が少ない ・適切な会場（集会所、コミュニティセンター等）がないこと。 ・世話役が高齢化し、担い手が不足していること。
生活支援	○食料品・日用品等の買い物がしやすい環境整備 ・身近な地域に店舗が少ないこと。 ・配達や代行もあるが自分で選ぶというニーズを満たさないこと。 ・大規模店では敷地が広く買い物がしづらいこと。
移動手段	○自家用車がない（運転できない）高齢者の移動手段 ・公共交通機関が少ないこと。 ・車いすタクシー等の事業所が少ないこと。 ・通院等定期的なタクシー利用の場合、経済的負担が大きいこと。
サービス資源	○サービスの偏在 ・山間部や沿岸部等まで送迎する通所介護事業所が少ないこと。 ・地域によって、利用できる訪問リハビリテーションが少ないこと。 ・往診・訪問診療に赴くことができる医療機関が少ないこと。 ・配食サービスのエリアが、市内全域を網羅されていないこと。 ○老老介護世帯の負担軽減 ・ショートステイやレスパイト入院等介護者の負担軽減のためのサービスが少ないこと。

3 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果（概要）

1. 目的

（１）要介護状態となる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定し、計画に反映する。

（２）介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する。

2. 調査期間 : 令和2年1月

3. 調査対象者 : 一般高齢者、事業対象者、要支援1、要支援2

4. 調査対象者数 : 前回調査時（平成29年度）に回答のあった方 4,504人

内訳：前期高齢者・・・1,932人（43%）、後期高齢者・・・2,572人（57%）

5. 回答数 : 3,811件（回答率 84.6%）

（件）

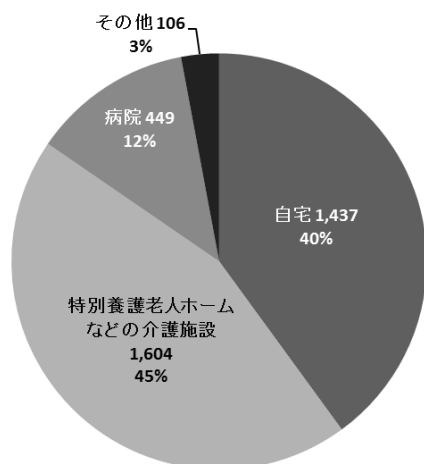
圏域	前期高齢者			後期高齢者			合 計
	男	女	小計	男	女	小計	
第一	51	54	105	69	99	168	273
第二	65	50	115	57	112	169	284
第三	90	89	179	79	152	231	410
浜山	67	56	123	42	85	127	250
南	69	69	138	75	113	188	326
河南	49	48	97	42	73	115	212
平田	81	66	147	83	150	233	380
旭丘	48	55	103	47	82	129	232
光	53	45	98	59	93	152	250
佐田	47	36	83	36	54	90	173
多伎	22	17	39	26	32	58	97
湖陵	26	27	53	28	37	65	118
大社	57	76	133	82	117	199	332
斐川東	57	42	99	48	73	121	220
斐川西	64	57	121	51	82	133	254
合 計	846	787	1,633	824	1,354	2,178	3,811

調査項目のうち、本計画の取り組みに反映したものを抜粋しています。

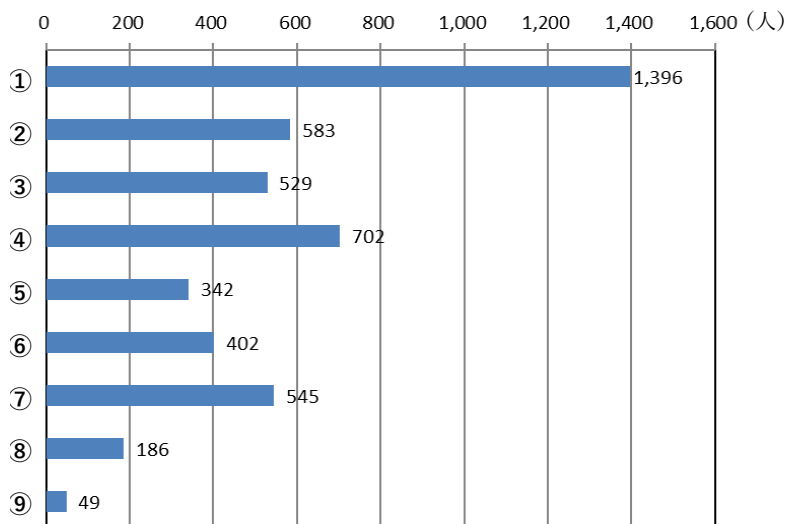
問1 療養したい場所、人生の最期を迎えたい場所について

調査結果を踏まえた考察

(1) 要介護状態などで長期の療養が必要となった時、主にどこで過ごしたいですか。

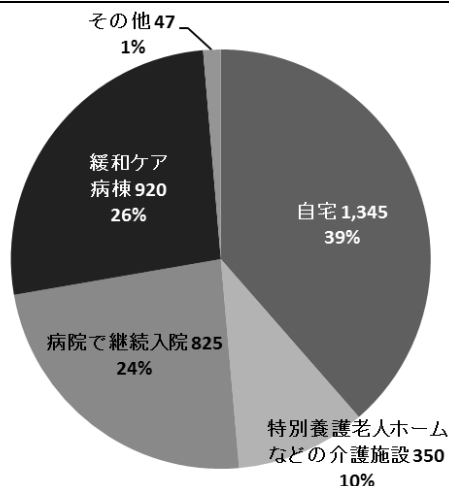


(2) (1)の理由は何ですか ※(1)で「自宅」以外を選択された方のみ



(複数回答あり)

(3) あなたが、がんなどの病気で人生の最終段階を迎えるときがきた場合、最期はどこで過ごしたいですか。



要介護状態となったときの「長期の療養の場」の希望

- ・介護施設 45%、自宅 40%
- ・自宅以外を希望する理由は、複数回答で「家族に負担や迷惑をかける」1,369 件（64.7%）
- 「病状急変時の対応の不安」702 件（32.5%）が多かった。

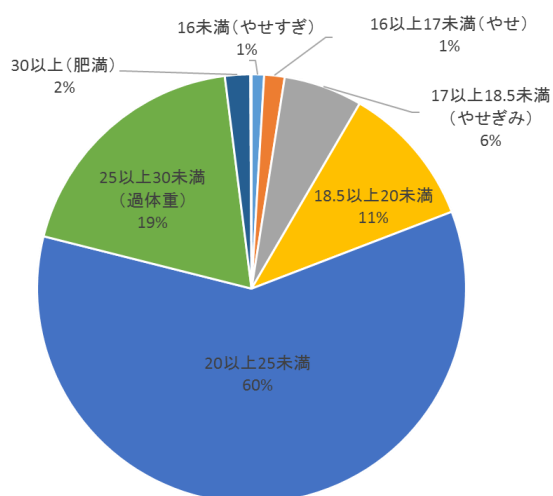
- ① 家族に負担や迷惑をかけるから
- ② 家族が仕事を辞めないといけなくなるから（家族が仕事と介護を両立できないから）
- ③ 介護してくれる家族がいないから
- ④ 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- ⑤ 費用等経済的に負担が大きいから
- ⑥ 療養できる部屋や風呂・トイレなどの住宅環境が整っていないから
- ⑦ 自宅では自身が望む十分な医療や介護を受けられないから
- ⑧ 医師や看護師等の訪問が精神的な負担になるから
- ⑨ その他

病気で「最期の時の過ごす場所」の希望

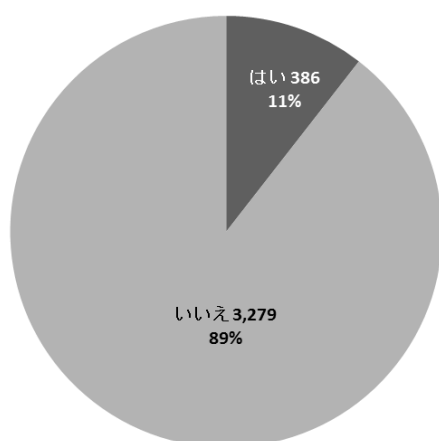
- ・病院 50%（緩和ケア病棟 26%、継続入院 24%）、自宅 39%
- ⇒平成 27 年度に実施した「在宅医療等に関する市民意識調査(20～80 代を対象)」では (1) について「自宅」と回答したのは 60 代 28%、70 代 30%、80 代 40%となっており、今回の調査との比較で「自宅」を希望する割合は若干増えてきた。同様に (3) について「自宅」と回答したのは 60 代 33%、70 代 34%、80 代 48%となっており、「自宅」を希望する割合は今回とあまり変化がない。

問2 食べることにについて

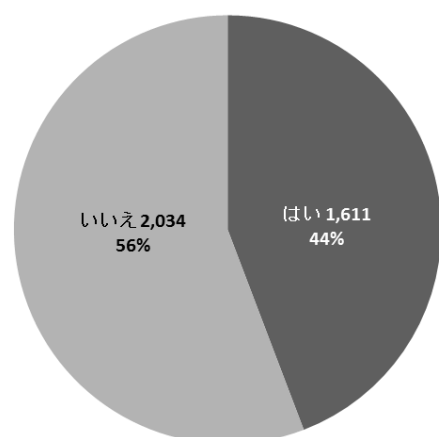
(1) BMI (体格指数)



(2) 6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。



(3) 年 1 回以上、歯科医院で定期受診していますか。



調査結果を踏まえた考察

BMI(体格指数：体重/身長×身長)

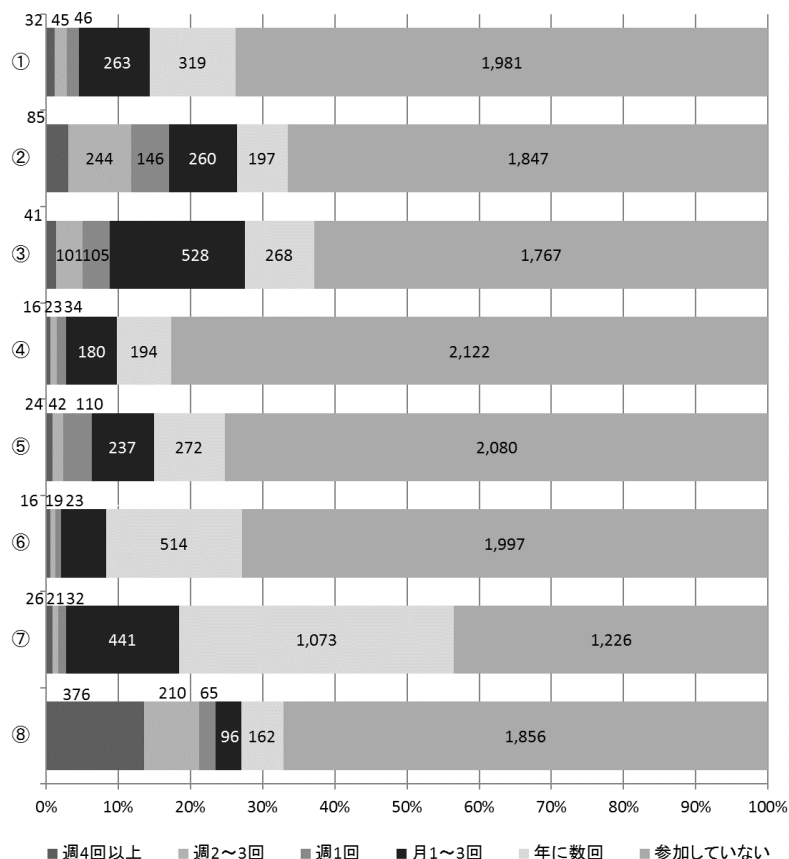
- ・ 18.5 以上 25 未満の人（標準体重） 71%
- ・ 18.5 以上 20 未満の人（今後の体重変化の経過を見る必要がある人） 11%
- ・ 18.5 未満の人（低栄養が疑われる人） 8%

半年間に 2～3 キログラム以上の体重減少があった人 11%
 かつ BMI が 18.5 未満の人は全体の 1%
 ⇒低栄養は、体力・免疫力の低下につながりやすいため、健康診査の結果等から、BMI が 18.5 未満の人や、18.5 以上 20 未満で体重減少が続く人については、その後の体重の変化や、食事の摂取状況を見ていく必要がある。

年 1 回以上の歯科受診をしていない人 56%
 ⇒後期高齢者歯科口腔健診などの定期的な歯科受診や口腔ケアの重要性について、通いの場等で啓発していく。

問3 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。



調査結果を踏まえた考察

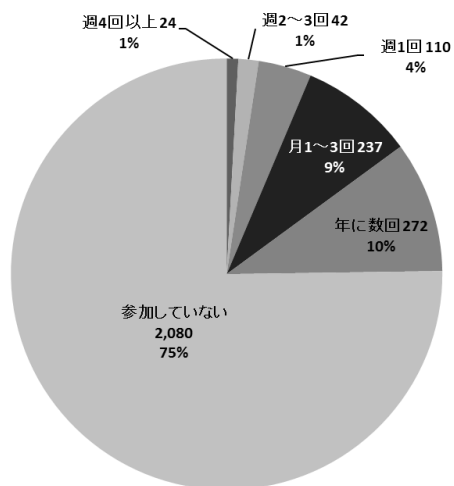
- ①ボランティアのグループ
- ②スポーツ関係のグループやクラブ
- ③趣味関係のグループ
- ④学習・教養サークル
- ⑤高齢者ふれあいサロンなど介護予防のための通いの場
- ⑥老人クラブ
- ⑦町内会・自治会
- ⑧収入のある仕事

地域での会、グループ等への参加
・月1回以上の参加状況は上位から

1. 趣味関係のグループ 28%
2. 収入のある仕事 27%
3. スポーツ関係のクラブ 26%

であった。

(2) 高齢者ふれあいサロンなど介護予防のための通いの場への参加頻度



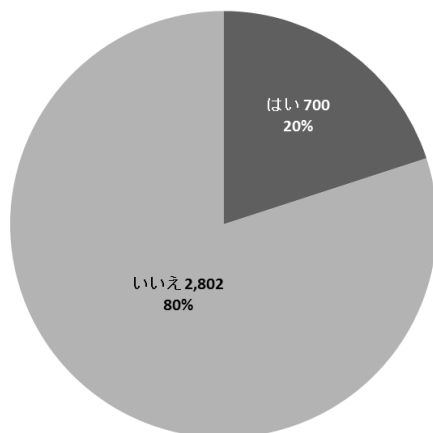
・ 高齢者ふれあいサロンなどの介護予防の通いの場への月1回以上の参加 15%、週1回以上は 6%である。また、参加していないという人は 75%であった。

⇒通いの場等への参加を促し、週1回程度の運動をする機会の確保及び継続した運動の必要性について、リハビリ専門職の派遣も拡充しながらさらに啓発していく。

問4 たすけあいについて

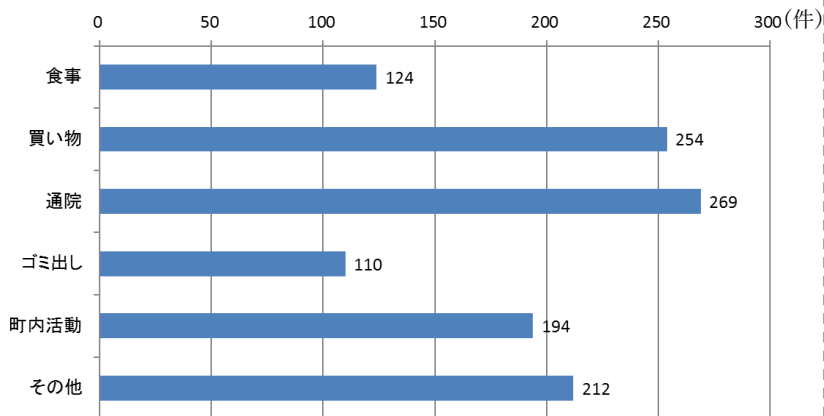
調査結果を踏まえた考察

(1) 普段の生活で困りごとがありますか。



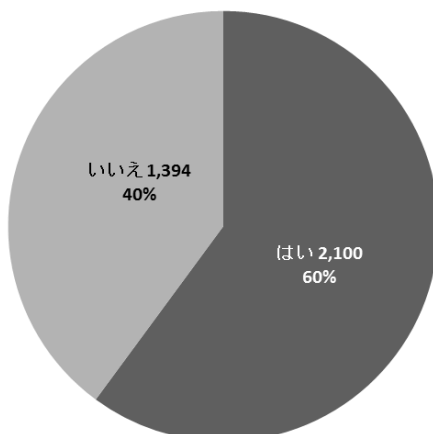
(2) 困りごとがある理由は、次のどれですか。

※(1)で「はい」の方のみ



(複数回答あり)

(3) まわりの人の困りごとをお手伝いしてあげることができますか。



生活の困りごと ある 20%。

・内容は

通院 269 件 (38.4%)

買い物 254 件 (36.3%)

町内の活動 194 件 (27.7%)

です。

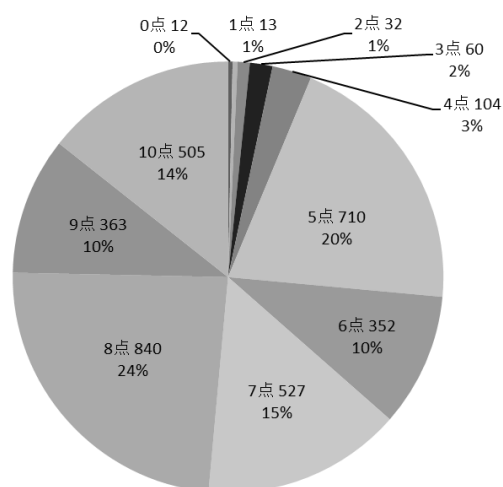
周りの人の困りごとへの手伝いができるか。

・はい 60%

⇒周囲の困りごとに対する助け合いの意識が高いことから、有償ボランティア等の活動への参加の周知、及び活動の担い手の発掘の支援をしていく。

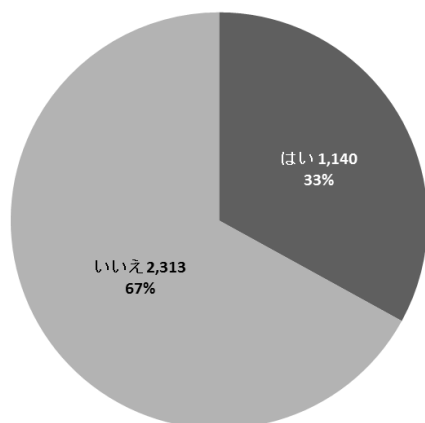
問5 健康に関する意識について

(1)あなたは、現在どの程度幸せですか。(10点満点)



問6 認知症について

(1)認知症に関する相談窓口を知っていますか。



調査結果を踏まえた考察

幸福感

・とても不幸0点～とても幸せ10点

1) 8点 24% 2) 5点 20%

3) 7点 15% 4) 6点、9点 10%

平均 7.1 点

・幸福感が低い人(4点以下)が 6.3% いる。

(0点 12人、1点～4点 221人)

認知症に関する相談窓口を知っているか

・はい 33%

⇒認知症の相談窓口について、高齢者や高齢者を抱える家族に対して高齢者あんしん支援センター等の相談先を周知していく。

4 成年後見制度の現状

1 成年後見制度利用者数【令和2年(2020)9月10日現在】

類 型	利用者数(人)
成年後見	369
保佐	70
補助	1
任意後見	4
合計	444

- * 松江家庭裁判所出雲支部が管理している件数
- * 本人の住所が出雲市である利用者数
- * 事件記録に基づく住所地であり、住所変更の届出がない限り反映されていない

2 後見等開始事件数【平成31年(2019)1月1日～12月31日】

類 型	利用件数
成年後見	159
保佐	36
補助	3
任意後見	2
合計	200

- * 松江家庭裁判所管内（島根県内）の件数

3 出雲成年後見センター 【令和3年(2021)1月末現在】

- ・ 会員数 115人（うち 受任会員数 78人）
- ・ 類型別受任件数

後見	保佐	補助	後見 監督	保佐 監督	任意 後見 監督	任意 後見 契約	合計
262	62	1	9	6	9	5	354

- * 法人後見を除く、本人の住所が出雲市分の件数

4 いずも権利擁護センター法人後見

申立年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
件数	1	2	0	0	1	1	1	1	0	2	0	1

- * 平成20年(2008)7月から業務開始

< 参考 > 後見制度の種類

類 型	対 象	後見人等の権限	
		同意（取消）権の範囲	代理権の範囲
法定 後見	判断能力が欠けているのが通常の状態の方	日常生活に関する行為以外の行為	財産に関する法律についての包括的な代理権と財産管理権
	保佐 判断能力が著しく不十分な方	民法第13条1項に定める行為	申立ての範囲内で、家庭裁判所が定める特定の法律行為
	補助 判断能力が不十分な方	民法第13条1項に定める行為の一部 ※本人の同意が必要	※本人の同意が必要
任意 後見	判断能力が不十分になる前に契約		契約の中で決められた行為の代理権

5 出雲市在宅医療・介護連携推進基本計画（概要）

1 計画策定の趣旨

平成 26 年度(2014)に介護保険法が改正され、地域包括ケアシステムの構築に向けた施策の一つとして、在宅医療・介護連携推進事業が地域支援事業に位置づけられ、市町村が主体となって取り組むこととなりました。

本計画は、平成 29 年(2017)7 月に策定した「在宅医療と介護連携のための指針」の策定趣旨を引き継ぎ、これまでの事業着手の段階から連携深化の段階へ進むにあたり、目指すべき姿を明確にし、それを実現させるための事業実施の方向性を示すものとして策定するものです。

2 計画の期間 令和 3 年度(2021)から令和 11 年度(2029)までの 9 年間

3 基本方針

実現を目指す高齢者の姿

高齢者一人ひとりが、自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最終段階まで尊厳を保ちながら、心身の状態に応じて可能な限り住み慣れた地域であんしんして日常生活を営んでいる。

4 計画の成果指標（最終アウトカム）

①市民のニーズ度（重要度－満足度）

A)病院、診療所等の医療施設の充実（訪問診療や訪問看護などの在宅医療を含む）

B)高齢者福祉施策の充実（高齢者福祉サービス・介護保険サービスなど）

②要介護 3 以上の高齢者の在宅療養率

③場所別（自宅）の死亡率

5 計画の進行管理

在宅医療・介護連携推進連絡会議において、前年度の各取組の実施状況をまとめ、目標の達成度などを評価する。3 年 1 回、取組の見直しを行い、新規取組の追加や取組の廃止、また目標の見直しなどの検討を行うものとする。

年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
高齢者福祉・ 介護保険計画	第 8 期計画			第 9 期計画			第 10 期計画		
在宅医療 介護連携 推進計画	実行 評価	実行 評価	実行 評価 見直し	実行 評価	実行 評価	実行 評価 見直し	実行 評価	実行 評価	実行 評価 次期計画策定

6 取組の指標マップ

アウトプット			
取組の区分	取組の内容	活動指標	柱
(1)講演会や座談会の開催による市民啓発	①講演会・フォーラム等の開催	33 講演会・34 座談会（開催数・来場者数） 35 主催者側の人数（スタッフ数） 36 学生の参画（学生の人数・学校数）	柱1
	②座談会・出前講座等の実施		
(2)広報紙やパンフレットなどを活用した市民啓発	①あんしんノートの活用	37 あんしんノート配付部数	
	②広報紙やパンフレットの配付		
	③ケーブルテレビやYouTubeでの発信		
(3)高齢者向けの相談窓口	①高齢者あんしん支援センターの総合相談	38 総合相談（新規件数・継続件数）	
(4)専門職向けの相談窓口	①高齢者あんしん支援センターの専門職相談	39 ケアマネジャーへの個別支援件数	
	②在宅医療・介護連携支援センターの専門職相談	40 専門職からの相談件数	
(5)市民への医療・介護サービス等の情報提供		41 市ポータルサイトのアクセス数	
(6)専門職間での情報共有	①地域ケア個別会議の活用	42 チームルピナス（人数・発信数）	
	②意見交換会の開催	43 地域ケア個別会議の開催数	
	③情報提供の統一化の推進	44 意見交換会の開催数・参加者数	
	④その他の情報提供	45 まめネット登録施設数・カード発行率	
(7)在宅療養に関わる支援	①外来時の支援	46 退院支援(退院調整)を受けた患者数(算定回数・レセプト件数) 47 介護支援連携指導を受けた患者数（算定回数・レセプト件数）	
	②入退院時の支援	48 退院時共同指導を受けた患者数（算定回数・レセプト件数） 49 退院退所加算の算定回数	
	③低栄養改善・食支援のアセスメント	50 入院時情報連携加算の算定回数 51 退院時訪問指導	
	④その他の支援	52 低栄養改善・食支援の専門職派遣件数	
(8)在宅療養を支える担い手の充実	①条件不利地域への在宅医療提供体制の支援	53 訪問診療を受けた患者数（算定回数・レセプト件数） 54 訪問看護利用者数（精神以外）（算定回数・レセプト件数）（介護保険） 55 訪問歯科診療を受けた患者数（算定回数・レセプト件数） 56 訪問薬剤管理指導を受けた者の数(薬局)(算定回数・レセプト件数) 57 条件不利地域における訪問診療（患者数・事業所数） 58 条件不利地域における訪問看護（患者数・事業所数）	柱2-2
	②人材の確保		
(9)研修会の開催	①多職種向けの研修会の開催	59 多職種研修会の開催数・参加者数・職種数 60 単一専門職の研修会の開催数・参加者数・職種数	柱2-3
	②単一専門職向けの研修会の開催		
	③研修会への支援		
(10)24時間対応可能な体制の構築	①24時間体制の推進	61 往診料（夜間、日祝）／全体 62 緊急訪問看護加算（診療報酬） 63 緊急時訪問介護加算	柱3
	②急変時対応に係る高齢者への支援	64 緊急時訪問看護加算（介護報酬）	

中間アウトカム			最終アウトカム		
取組の方向性	成果指標	具体的な目指す姿		実現を目指す高齢者の姿	成果指標
高齢者とその家族が在宅医療や介護について考える機会の提供（啓発）及び医療・介護専門職と共有する仕組みの構築	4 ACPの実践率（市民アンケート・在宅医療座談会事後アンケート）	柱1	高齢者自らが医療・介護が必要になったときに望む暮らしを予め考え、家族や医療・介護関係者と話し合う機会を持っている。	高齢者一人ひとりが、自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最終段階まで尊厳を保ちながら、心身の状態に応じて可能な限り住み慣れた地域で安心して日常生活を営んでいる。	1 市民のニーズ度 2 要介護3以上の高齢者の在宅療養率 3 場所別(自宅)の死亡率
適切な医療・介護サービスにつなぐための支援体制の構築（情報提供含む）	5 地域ケア個別会議の終結率 6 専門職からの相談の終結率 7 退院支援を実施している診療所・病院数 8 介護支援連携指導を実施している診療所・病院数 9 退院時共同指導を実施している診療所・病院数 10 退院前・退院後訪問指導を実施している診療所・病院数	柱2	高齢者自らの心身の状態に応じて、その機能の維持・改善や、日常生活に必要なサービスを適切に利用できる。		
在宅医療・介護サービスを提供する事業所の充実・人材の確保	11 訪問診療を実施している診療所・病院数 12 訪問看護を実施している事業所数 13 訪問歯科診療を実施している歯科診療所 14 訪問薬剤指導を実施している事業所数 15 訪問栄養指導を実施している事業所数 16 訪問介護の事業所数 17 通所介護の事業所数 18 訪問リハビリテーションの事業所数 19 通所リハビリテーションの事業所数 20 訪問入浴介護事業所数 21 短期入所事業所数 22 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数 23 小規模多機能型居宅介護事業所数 24 看護小規模多機能型居宅介護事業所数 25 介護人材 正規職員の充足率 26 介護人材 正規職員の自己都合退職者数				
医療・介護専門職の人材育成とスキルアップのための多様な機関による研修機会の提供	27 研修会の満足度				
高齢者本人やその家族の状況に応じた24時間対応可能な体制の構築	28 往診を実施している診療所・病院数 29 在宅療養支援診療所・病院数・後方支援病院数 30 24時間体制を取っている訪問看護ステーション数 31 在宅ターミナルケアを受けた患者数 32 在宅での看取り数（死亡診断書のみの場合も含む）	柱3	在宅療養高齢者の急変時に必要な医療・介護サービスの提供体制が整っている。（看取りを含む）		

6 在宅介護実態調査結果（概要）

I 調査の内容

1 調査の目的

現在国において、一億総活躍社会の実現を目指し、「2020 年代初頭にやむを得ず介護を理由に離職される方をなくす」という目標が掲げられている。

これを受け、本市第 8 期事業計画においては、従来の「地域包括ケアの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」という観点も含めて、サービスの種類ごとの「量の見込み」を定めることとした。

本調査は、この方針に基づき、在宅における介護の現状を分析し、介護者が就労を継続するために必要な介護サービスの種類・量を把握することを目的に実施する。

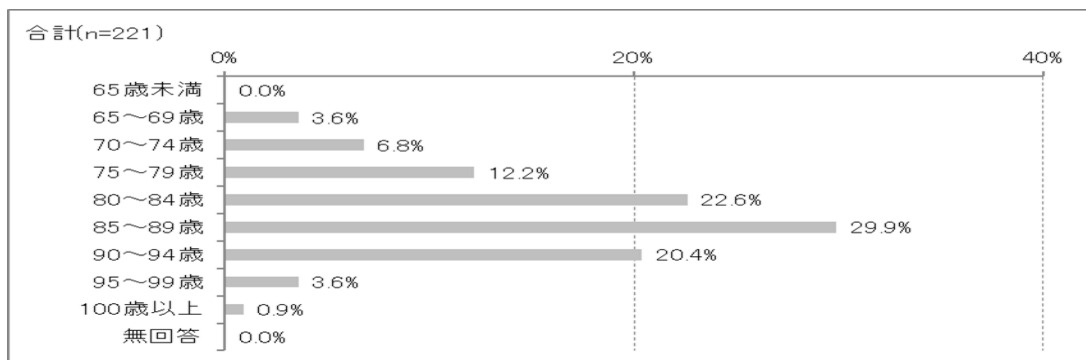
2 調査設計

- (1) 調査地域 出雲市全域
- (2) 調査対象 在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方
- (3) 回収数 231 人

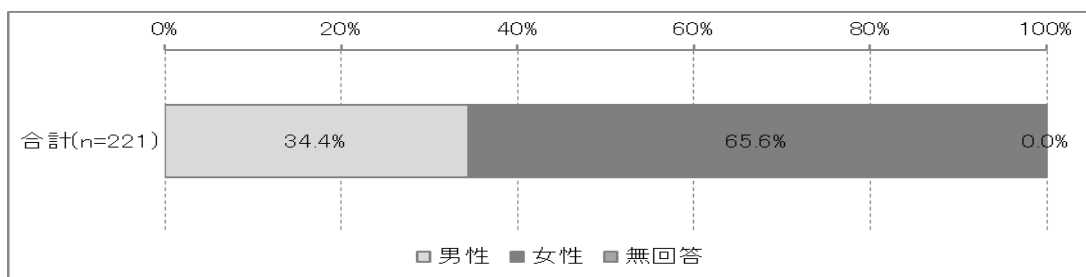
II 集計結果（概要）

1 調査対象者の状況

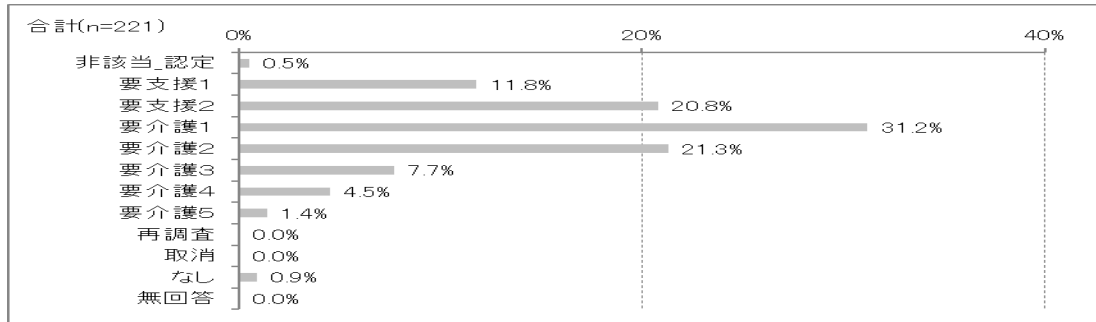
(1) 年齢



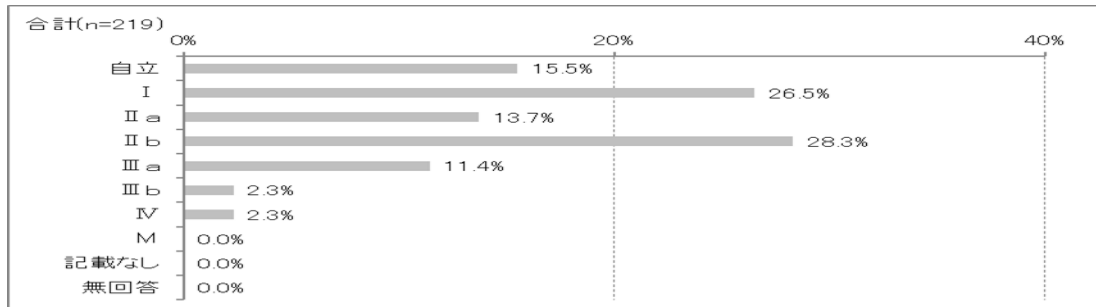
(2) 性別



(3) 審査会二次判定結果

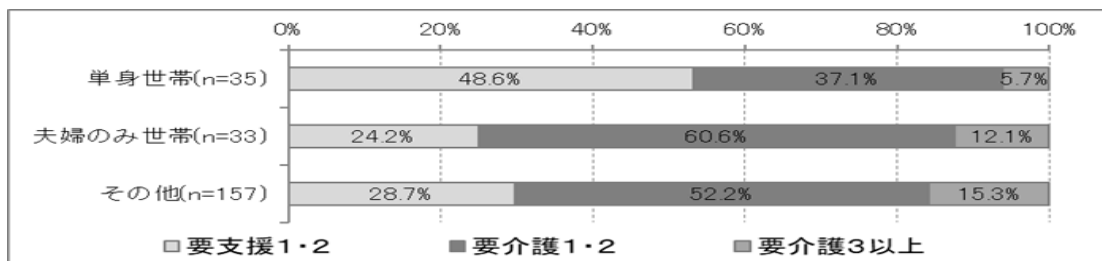


(4) 認知症高齢者の日常生活自立度



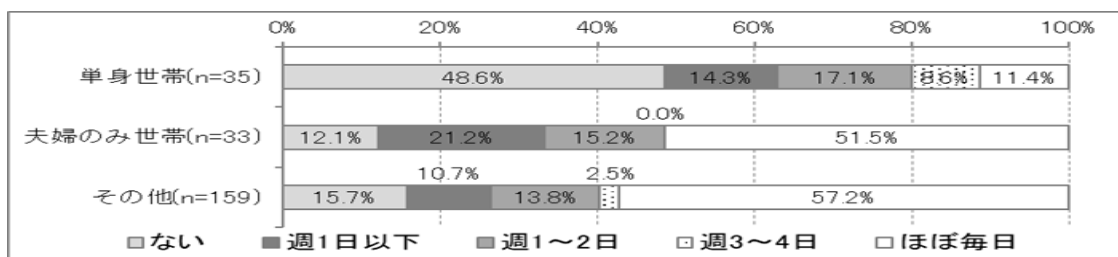
2 家族・親族の介護の状況

(1) 世帯類型別・要介護度



「世帯類型別」の「要介護度」について、「単身世帯」では「要介護3以上」の割合が5.7%であるのに対し、「夫婦のみ世帯」では12.1%、「その他世帯」では15.3%となっています。

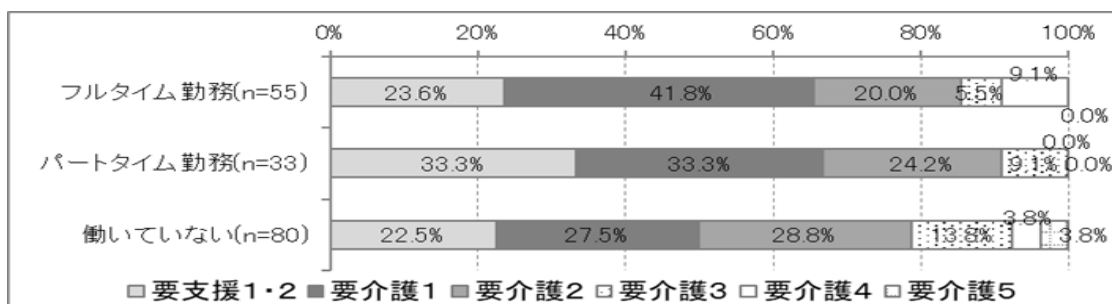
(2) 世帯類型別・家族等による介護の頻度



「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」について、「単身世帯」では「ない」が最も高く48.6%となっています。

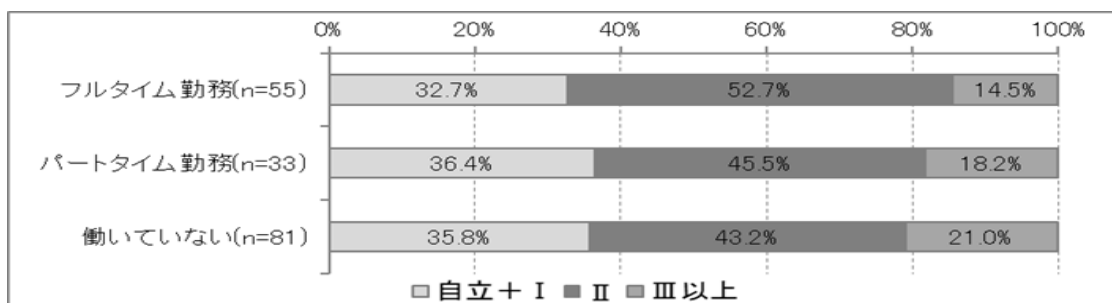
3 主な介護者の就労状況

(1) 就労状況別・要介護度



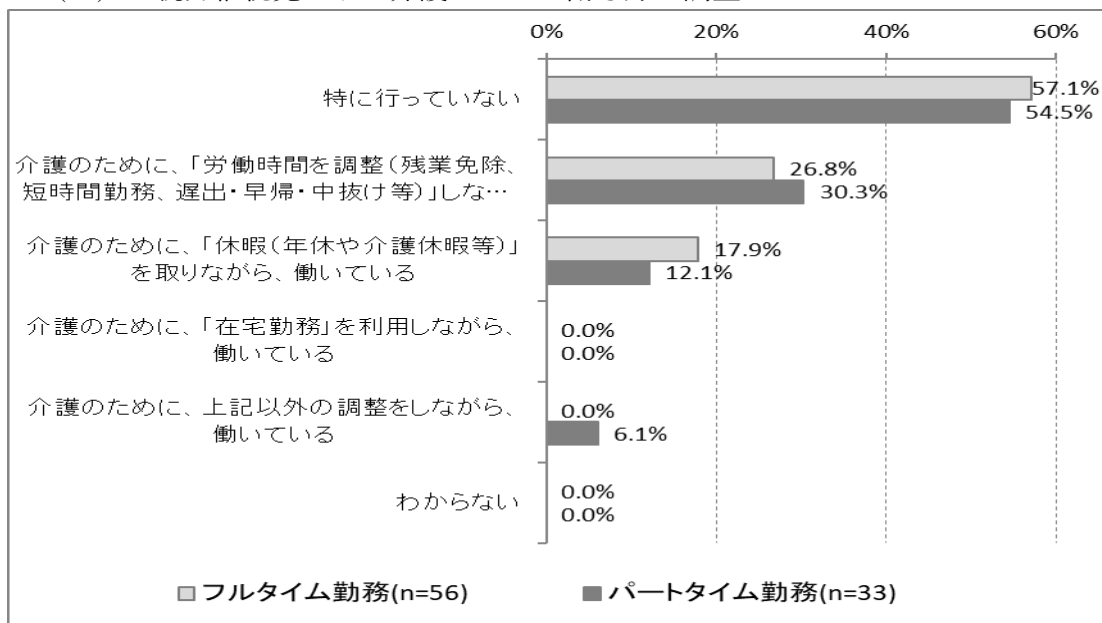
要介護者の「要介護度」について、就労している介護者に比べ就労していない介護者では、「要介護3」以上の割合が高い傾向となっています。

(2) 就労状況別・認知症自立度



要介護者の「認知症自立度」について、就労していない介護者では、「Ⅲ以上」の割合がやや高い傾向となっています。

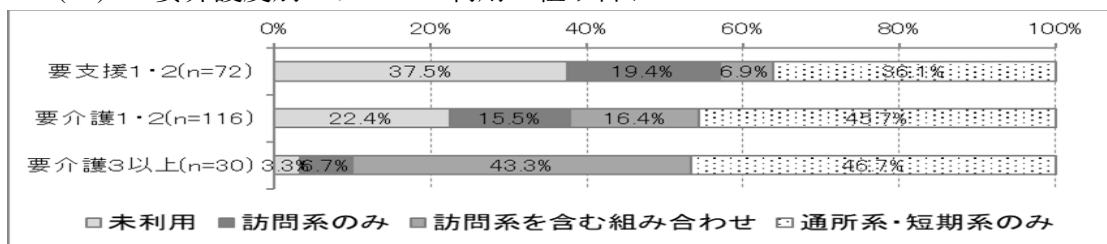
(3) 就労継続見込み・介護のための働き方の調整



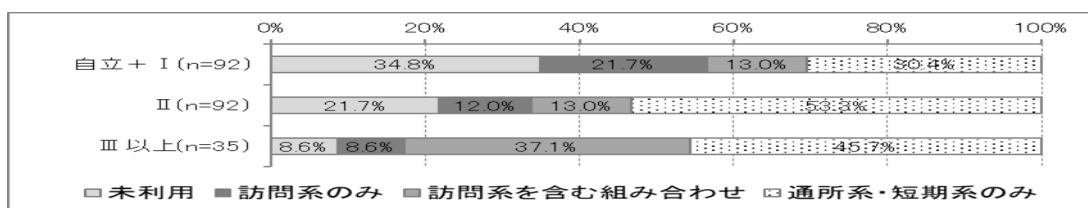
「介護のための働き方の調整」について、フルタイム勤務の26.8%、パートタイム勤務の30.3%の人が労働時間を調整しています。また、フルタイム勤務では、パートタイム勤務に比べて「休暇」の割合が高くなっています。

4 サービス利用の状況

(1) 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



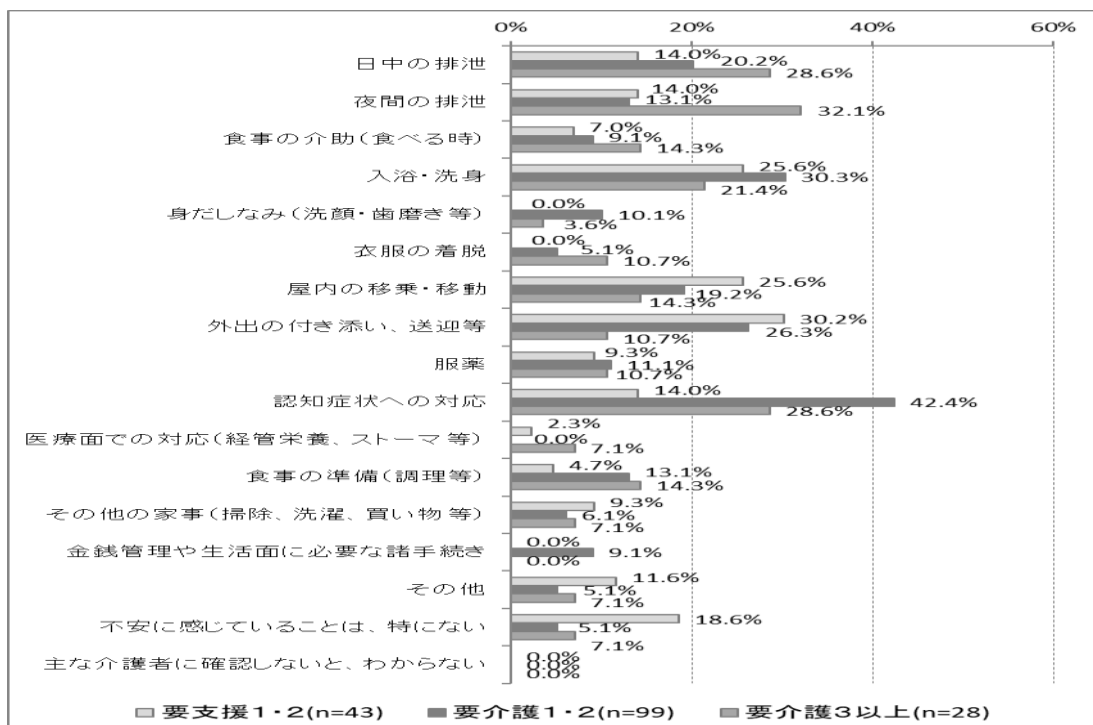
(2) 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



「認知症自立度」が重度化であるほど、「訪問系のみ」の割合が減少し、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高い傾向となっています。

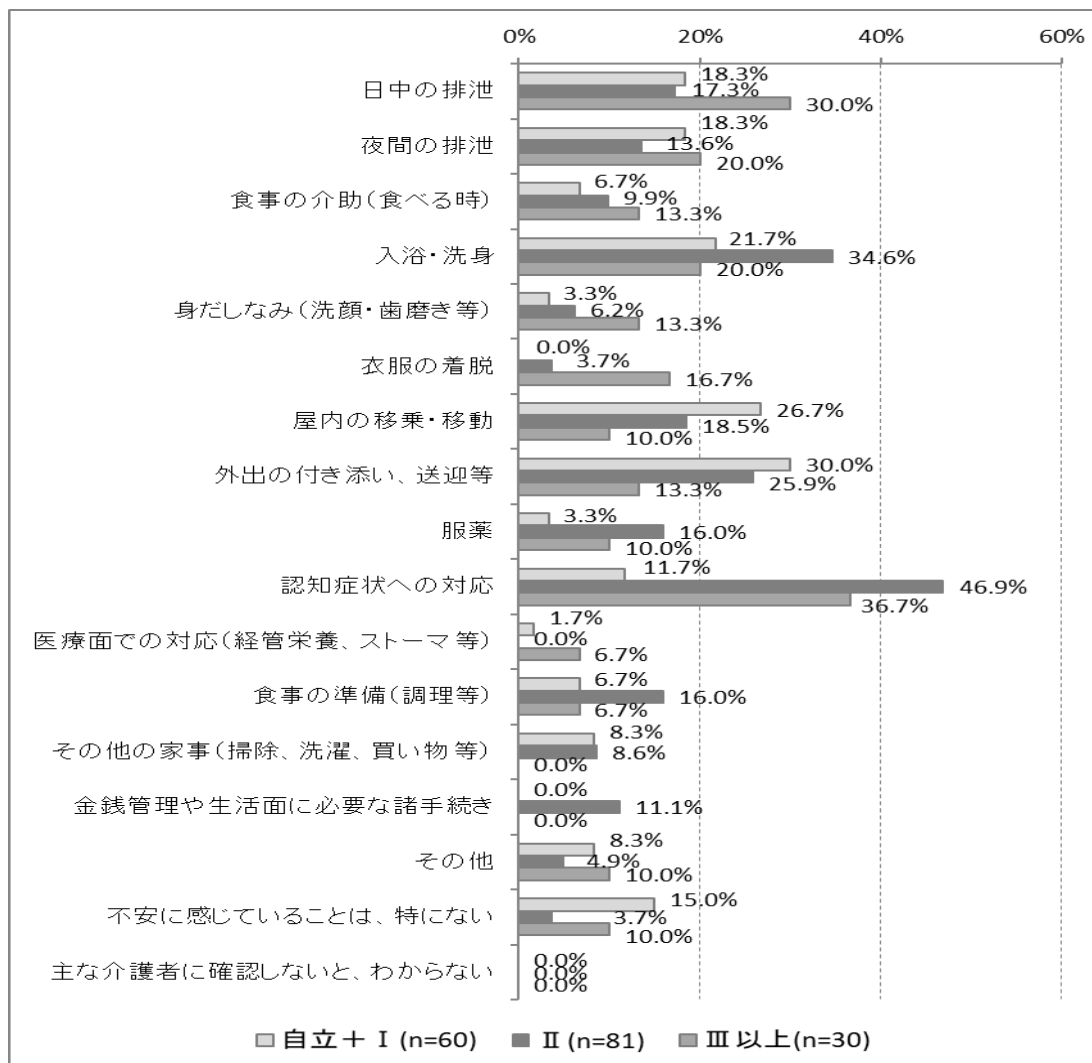
5 介護者が不安に感じる介護

(1) 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護」は、「要介護1・2」が、「認知症状への対応」についてであり、「要介護度3以上」が、「日中の排泄」、「夜間の排泄」についてとなっています。

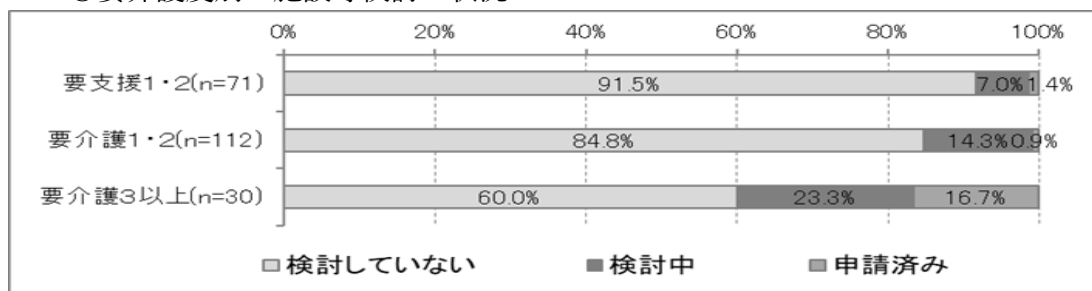
(2) 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護」は、「II」が、「認知症状への対応」、「入浴・洗身」についてであり、「III以上」が、「日中の排泄」、「認知症状への対応」についてとなっています。

6 施設等の検討の状況

○要介護度別・施設等検討の状況



「要介護度別」の「要介護3以上」は、「検討していない」が60.0%、「検討中」が23.3%、「申請済み」が16.7%となっています。